

令和7年3月17日

保護者様

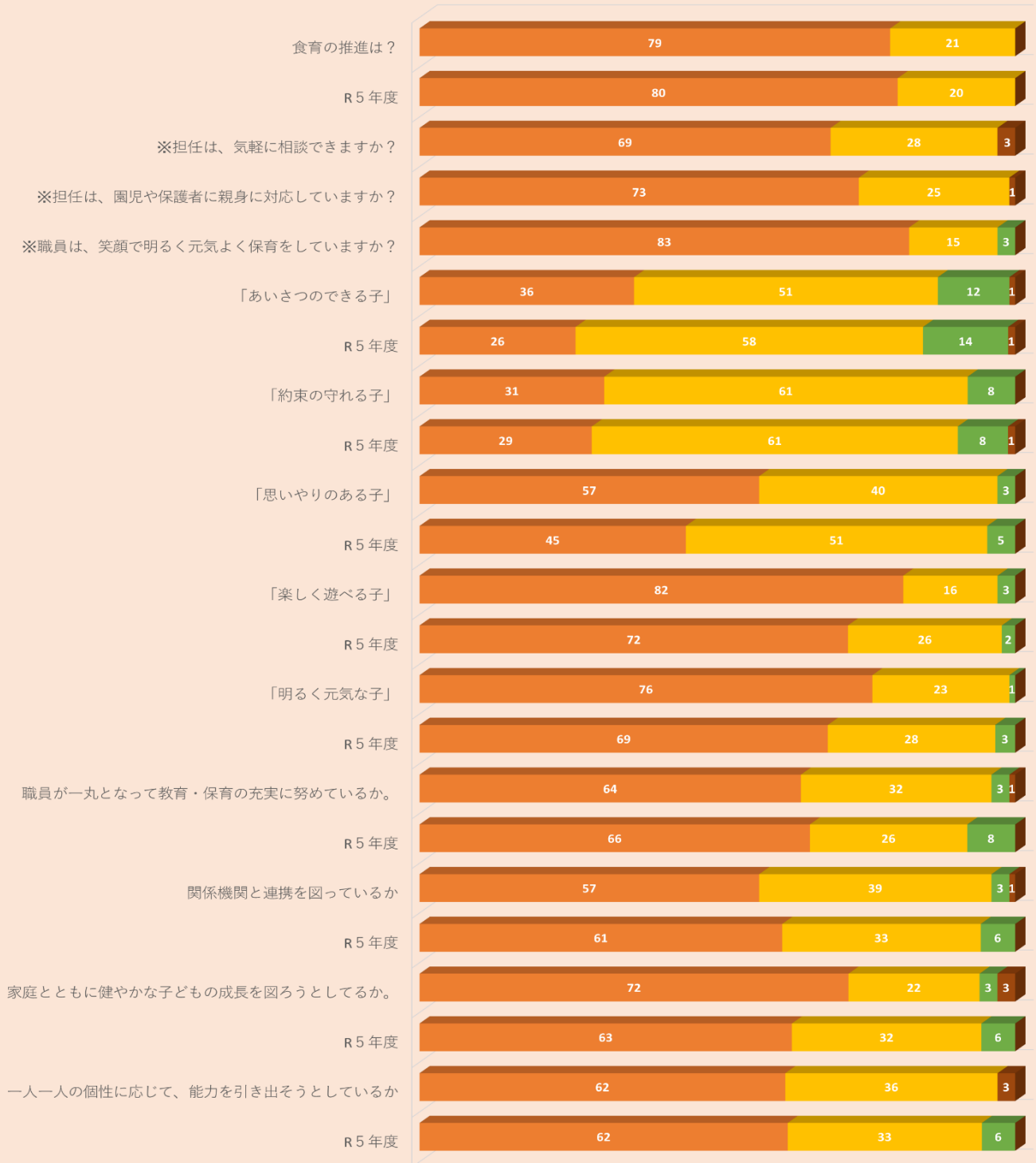
令和6年度 幼稚園評価結果

富岡ひばり第二こども園

令和6年度富岡ひばり第二こども園 アンケート結果（保護者）

※印は、本年度からの評価項目 グラフ中の数値は%

■ 評価する ■ 概ね評価する ■ あまり評価しない ■ 評価しない



日頃より、園の活動にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、過日は、ご多用の中「こども園評価アンケート」にご協力をいただき、重ねてお礼を申し上げます。

さて、頂戴いたしましたアンケートを集計しましたので、大まかな分析とともにご報告いたします。

なお、記述欄にて、多くの方々から丁寧なお礼や感謝の言葉、賞賛や励ましの言葉を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。職員の励みとなり、モチベーションも高まりました。また、同時に貴重なご提案やご指摘もたくさん頂戴いたしました。頂戴しましたご提案とご指摘は、こども園をよくするために、生かしてまいります。

《結果の考察》

「一人一人の個性に応じて、能力を引き出そうとしているか」

昨年度10%増加した「評価する」がそのまま62%をキープし、「おおむね評価する」が36%と3%上がり、高い評価を維持していますが、評価しないが3%発生しているクラスもありました。こども園は、学校と異なり、同じクラスでも月齢の差が大きかったり、生育環境や生育経験の違いが顕著であったりと、子ども個々の個性や能力を正確に見取り、それに応じた支援や保育に努める難しさがありますが、家庭と寄り添い連携を深める対応の仕方に一部で問題があったと反省しています。子ども個々の把握に努め、能力を引き出し、家庭にその子のよさを伝える連携に更に力を入れてまいりたいと思います。

「家庭とともに健やかな子どもの成長を図ろうとしているか」

「評価する」が9%増え72%になり、高い評価をいただきました。昨年度に続き、クラス説明会、保育参観、親子バス旅行を4月から6月の間に行ったことも、評価につながったと考えています。また、CoDMONによる相互連絡や送迎の折の担任との会話の機会が増えたことも大きいと思われます。しかし、コメントの中でお迎え時の会話や打刻の仕方にご不満を持たれている方もおります。話をしっかり伝えてほしい保護者もいれば、早く打刻をしてほしい保護者の方もおり、難しい部分はありますが、お伝えする内容の吟味も含め、お伝えの仕方や打刻に注意を払い、どなたもが気持ちのよいお迎え時となるよう改善を図ってまいります。

「関係機関と連携を図っているか」

過去2年間評価が向上してきた項目ですが、今年は「評価する」が6%も下がりました。しかし、「評価しない・あまり評価しない」が3%下がっており、一定の成果があったと思います。園が行っている連携活動は、運動会や文化祭など東富岡コミュニティセンターや避難訓練のJA甘楽富岡、子どもの発達支援関係では、市の保健センターやすこやかぶらす、県の富岡保健所、児童発達支援施設の「れいんぼ〜」や「そらまめ」「わんせるふ」と行っています。特に発達支援では、園児の発達状況やその子への支援方法などを知るために、必要に応じて年間に何度か専門家に来ていただきました。

「職員が一丸となって教育・保育の充実に努めているか」

「評価する」が2%減少しましたが、「おおむね評価する」が6%増加し、「あまり評価しない・評価しない」が4%減少し、結果高い状況を維持しています。職員もチームワークよく保育にあたっていますが、子ども

は、大人の姿を見て育っていくものです。素直で明るく元気で、友だちと仲良く過ごせる子を育むためには、職員は緊張感をもって、互いを尊重し合い、励まし合い、信頼し合える姿を園児に見せなければなりません。反省すべき点をご指摘いただいた方もおります。あるべき保育者の姿を子ども達に、一つでも多く見せられるよう反省し、改善してまいります。

本園がめざす「5つの園児の姿」

「明るく元気な子」、「楽しく遊べる子」、「思いやりのある子」、「あいさつのできる子」の4つの項目で「評価する」が、大きく増加しました。具体的には、「明るく元気な子」が7%、「楽しく遊べる子」が10%、「思いやりのある子」が12%、「あいさつのできる子」が10%向上しました。特に後者の2項目では、園で月の目標に「あいさつをしよう」や「フワフワ言葉を使おう」などを取り入れていたり、園の生活の中でも、あいさつができたときに褒めたりして、あいさつすると嬉しいと感じられる機会を増やしてきました。また、登降園の折に、我が子に挨拶を優しく促す保護者の方が、今年も多数いらっしゃいました。これらの活動が成果となって表れてきたことを嬉しく感じます。

今後ともご家庭とも協力しながら、園内外で挨拶や思いやりの心を育む活動を進めていきます。

「職員は、笑顔で明るく元気よく保育をしているか」

「担任は、園児や保護者に対して、親身に対応しているか」

「担任は、気軽に相談できますか」

今年度からアンケート項目に入れたこの3項目ですが、とても高い評価をいただくことができました。保育の現場で働く職員にとって、この項目が示す姿は常に心に留めて園児と接するべきものです。ですので、この評価は、職員の励みとなりました。しかし、「担任は、気軽に相談できますか」において、評価しないも3%でてしまいました。前項でも示したように、一部の保護者の方と信頼関係が築けなかったことが原因であり、保護者との接し方を職員の隅々まで徹底させる必要を強く感じました。

「表情」や「挨拶」はどうか、「身だしなみ」や「話し方」はどうか、そして一番大切な相手の立場に立ち寄り添った「態度と対応」はどうか、十分に振り返り、反省をもとに改善してまいります。

食育

最後の食育ですが、昨年とほぼ同じ結果となり、一定の成果をあげていたと考えています。来年度は、CoDMON上でのお知らせを更に充実できるように、努めてまいります。

クラスや園に対するご感想・ご意見

100件を超えるご感想とご意見を頂戴しました。そのほとんどがお礼や励まし、労いのコメントでした。ありがとうございました。また、ご提案型のご要望など、参考となるご意見も多数ありました。特に、保護者との接し方や園児との接し方などや、懇談会など予定表にない行事日程の連絡方法や保護者会役員についてなど多方面にわたるご指摘をいただきました。直接園の運営方法や保育職員の反省と改善に結びつくこれらのご指摘に感謝しております。職員一同認識を共有し、次年度に生かしてまいります。